

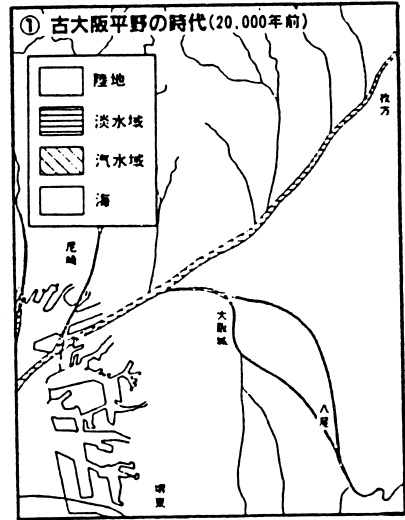
大阪平野のおいたち

私たちのすむ大阪平野はどのようにしてできた
のだろうか。20000年前からたどってみよう。

大阪平野のうつりかわり

① 古大阪平野の時代(20000年前)

この時代の日本列島付近の平均気温は、現在よりも7~8度も低く、日本アルプスは氷河が発達していた。



Q1. 海面の高さは、現在よりもどうなっていたか。

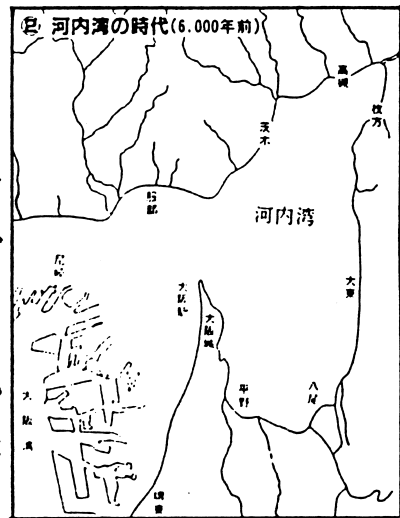
- a 100mほど低い
- b ほぼ同じ
- c 100mほど高い

Q2. 現在の大阪湾はどうなっていたか

- a 氷の海であった
- b 川が流れていた
- c 田畑があった

② 河内湾の時代(6000年前)

この時代になると、海面は現在とほとんど同じ高さまで急激に上昇した。河内平野にも海が侵入し、生駒山のふもとまで海になった。



Q3. 気候は現在とくらべてどうだったか。

- a 寒い
- b ほぼ同じ
- c 暖かい

Q4. 当時の河内湾にある哺乳動物が泳いでいたことが、化石からわかっている。

次のどんな動物か。

- a アシカ
- b アザラシ
- c クジラ

Q5. この時代は縄文時代といい、大阪の人々は狩をして生活していた。どんな動物をとったのだろうか。2つ選びなさい。 { } { }

- a マンモス
- b イノシシ
- c トナカイ
- d シカ